

## 令和4年度 第4回 和泉市学力向上検討懇話会

令和4年8月3日

和泉市教育委員会事務局 教育・こども部 学校教育室

### 懇話会（第4回）次第

日時：令和4年8月3日 15：00～  
場所：和泉市役所3階 庁議室

1. 開会
2. あいさつ（1分）
3. 第3回の振り返りについて（5分）
4. 「**本日の論点**」  
学力向上に資する今後の展開案のまとめについて  
（50分）
5. その他、閉会（10分）

※（ ）内の時間は進行の目安です。

#### 第3回懇話会にていただいたご意見①

##### 【キーワード】

- ◆ 成績の2極化問題については、ICTを有効活用し、子どもの特性に応じ、指導することが「公教育の使命」。
- ◆ 愛着課題とセットで学力向上を考えなければならない学校もあるため、福祉部局とともに取り組む必要がある。
- ◆ ICT活用推進は、モデル校を指定が有効
- ◆ 武雄市の「学ぶ環境は問わないICT活用」の取組みについて
- ◆ 家庭学習でタブレットを使い、教材を「つかむ・見通す」、授業では「学校でしかできない学び」に重点をおく取組みについて
- ◆ タブレットは教科によって相性があり、プログラミング教育に最適
- ◆ 他の自治体の取組みを徹底的に真似ることから始めることは有効

#### 第3回懇話会にていただいたご意見②（今後の具体施策（案）について）

##### 【キーワード】

- ◆ 1種類のAIドリルの活用に統一すべき
- ◆ 大学でのAIドリル活用について、授業場面と個別課題での活用場面を、どうリンクさせるのかについて、仕組みづくりを模索中
- ◆ 校外での放課後学習支援事業について、実施手法を見直すべき
- ◆ 今後の「いずみ希望塾」でも、AIドリルを活用できるようにすべき
- ◆ 更新を予定している「校務支援システム」においては、保護者との連絡用アプリ導入を検討すべき
- ◆ 各校モジュール授業の取組みを、更に工夫することが必要
- ◆ 保護者への働きかけにおいて、福祉部局との連携は必須

### 【今後の具体施策（案）】

- (1) 5教科AI教材の導入
- (2) 新「いずみ希望塾」
- (3) 新校務支援システムのアップデート

#### (1) 5教科AI教材の導入

##### ①概要


- ◆ 1人1台学習用PC上で、使えば使うほど最適化する（苦手な問題でもつまづかずに学習がすすめられる）AI型教材。
- ◆ 家庭学習（宿題）での活用も有効。
- ◆ 教科：小4（国・算・理・社）、小5・6（国・算・理・社・英）  
中1・2・3（国・数・理・社・英）
- ◆ 現状：1学期から先行試行（和泉中・郷荘中・横尾中・横山小・朝南小）（R4無償）  
夏休みから市内全校実施

9月補正予算要求  
（債務負担）

(1) 5教科AI教材の導入

②授業でQubena

Qubenaに挑戦



Qubenaに初挑戦する子どもたちですが、入り方さえわかったら、いろいろな問題にどんどん取り組んでいきます。

(1) 5教科AI教材の導入

③家庭でQubena<1>

**Q1グランプリ**


和泉市立学校

全児童生徒参加可能

AIドリルを活用!

学年設定目標学習時間を超え!!

次のステップ AIドリルに保護者とともに取り組む機会創出



(1) 5教科AI教材の導入

③家庭でQubena<2>

**Q1グランプリ**

- ◆終業式、夏季休業中に、各学校から保護者へ、いずみメールを活用し周知
- ◆2学期すべての児童生徒へ「Q1グランプリアンケート」実施
- ◆保護者にも「Q1グランプリアンケート」を実施
- ◆保護者へのはたらきかけとして「動画配信、オンライン研修」など検討
- ◆学校へのフィードバック

(1) 5教科AI教材の導入

④教員の研修状況<1>

**AIドリル活用研修**

本日は研修よろしくお願ひします。研修の中で利用しますので、<https://izumi.qubena.app/>にアクセス頂き、自分の学校のサンプル用IDでログインをお願いします!

**Qubena**

小中5教科 導入研修



(1) 5教科AI教材の導入

④教員の活用向け<2>

- ◆ 家庭学習としての活用法
- ◆ 宿題の在り方見直し
- ◆ 学習履歴の把握・活用
- ◆ (反転学習での活用)

和泉市AI教材活用プラン

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
児童生徒	家庭学習	家庭学習	家庭学習	家庭学習	第3回Q1グランプリ夏休みの宿題	家庭学習	家庭学習	家庭学習	第4回Q1グランプリ冬休みの宿題	家庭学習	家庭学習	家庭学習
教員	教員研修①				教員研修②				教員研修③			
保護者	入学式説明会 動画配信	保護者履歴確認										
いずみ希望塾	面接にて入塾条件確認	業者履歴確認										

### 協議・意見交換①

### (2) 新しい希望塾

①主な変更点

- ◆教材  
テキスト教材 ⇒ AIドリル
- ◆学習場所・年間実施回数  
会場40回・オンライン40回⇒会場40回・家庭40回以上
- ◆指導方法  
会場：AIドリルを活用し、わからない問題を中心に学習支援を行う。  
家庭：児童生徒が、個別にAIドリルで学習を行う。その学習履歴を指導者は確認し、取組内容設定や対面指導にいかしサポートする。必要に応じて、家庭へメール等でアドバイスや励ましのメッセージを送るなど、家庭での学習に寄り添う。

### (2) 新しい希望塾

②考え方

全児童生徒がAIドリルを活用して行う家庭学習を、**新しい希望塾がサポート**

### (2) 新しい希望塾

③仕様等

予算確保済み

今秋プロポーザルで事業者選定を実施  
予算：2億6100万円（R5-7の3年間）

<新仕様>

- ◆ 420名程度→850名に拡充
- ◆ 会場・家庭ともに、AIドリルを活用した個別習熟度別指導
- ◆ 会場・家庭ともに、1人1台学習用PCを活用
- ◆ 年間40回の会場での対面実施と家庭でのAIドリル活用実施を40回以上
- ◆ 学習履歴を指導者が確認し、取組内容設定や対面時の指導にいかす
- ◆ テストは、期初・期中・期末の3回
- ◆ アンケートは、期初・期中・期末の3回

ICT教育の重点事項3-2  
スマイル学習詳細

school movies innovate  
the live Education-Classroom

### 協議・意見交換②

「個別最適化された学び」

発展 or 補充

- ・ AIドリルの活用検討

「個別最適化の学び」に加え、子どもたちの「教えあい、学びあい」に発展させる仕組みへ ⇒ 指導方法の工夫改善

## 協議・意見交換②

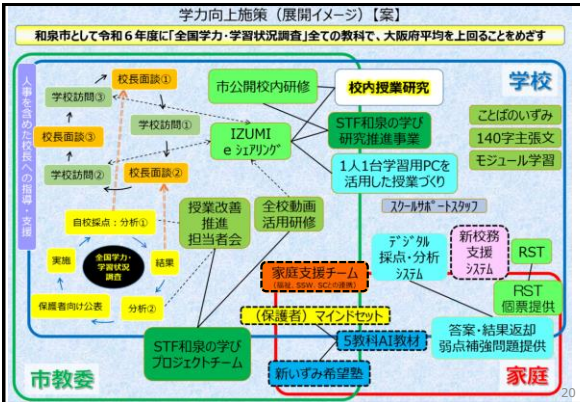
### (3) 新校務支援システムのアップデート

予算確保済み

学力状況変化 (イメージ)

学習・生活状況等の情報を一元化 (システム更新)

・校務支援のデータ管理システムを次年度に更新し、より効率的な機能を導入することにより、指導にいかす



## 協議・意見交換③